

♪ 鎌仲ひとみ監督作品

上映会 119分

小さき声のカノン

— 選択する人々



はじめはみんな、
泣き虫なフツーの
お母さんだった

東京電力福島原発事故から4年。事故による影響は安全である・危険であるといった議論からこぼれ落ちる声が存在している。

それは不安な気持ちを抱えたお母さんたちの声だ。かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子どもたちに何が起きたのか。お母さんたちはどうやって子どもを守ろうとしたのか？チェルノブイリとの時間差は25年、今なおその影響が続いていることは、実は知られていない。事故の衝撃に立ちすくみ、ただ困惑している時期は過ぎた。希望を具体的につくり出す新しいステージに今、私たちは立っている。迷いながらも日本のお母さんたちが自分たちの意志で動き始めた。そんなお母さんたちの小さな声が、国境を越えて響き始める。

2015 11月22日(日)

午前10時・午後1時・4時(3回上映)

会場：諏訪市「湯小路いきいき元気館」3階交流ひろば

(諏訪市小和田19-3 旧「諏訪日赤」跡地 電話54-7711)

参加費1000円(中学生～大学生500円)

お問合せ→080-1040-7463(すわこ文化村)

共催：諏訪湖クラブ・脱原発すわ連絡会・すわこ文化村(第60回企画)